

# 宮崎県議会 令和3年6月定例会 一般質問時間割

※ 網掛は教育委員会への質問なし

## ■ 6月17日(木)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	自由民主党	坂口博美	10:00~11:00	
2	県民連合宮崎	満行潤一	11:00~12:00	休憩
3	公明党	重松幸次郎	13:00~14:00	

## ■ 6月22日(火)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
10	自由民主党	佐藤雅洋	10:00~11:00	
11	自由民主党	日高陽一	11:00~12:00	休憩
12	自由民主党	安田厚生	13:00~14:00	

## ■ 6月18日(金)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
4	自由民主党	山下博三	10:00~11:00	
5	自由民主党	西村賢	11:00~12:00	休憩
6	県民の声	井上紀代子	13:00~14:00	

## ■ 6月23日(水)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
13	日本共産党	前屋敷恵美	10:00~11:00	
14	郷中の会	有岡浩一	11:00~12:00	休憩
15	公明党	河野哲也	13:00~14:00	

## ■ 6月21日(月)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
7	自由民主党	横田照夫	10:00~11:00	
8	県民連合宮崎	岩切達哉	11:00~12:00	休憩
9	自由民主党	内田理佐	13:00~14:00	

宮崎県議会 令和3年度定例会における本会議答弁件数

	6月		9月		11月		2月		計	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
教育政策課	3	7	3		0		3		9	
財務福利課	2	0	0		2		0		4	
高校教育課	28	10	13		18		9		68	
義務教育課	26	9	14		13		6		59	
特別支援教育課	6	2	5		1		13		25	
教職員課	10	5	4		9		8		31	
生涯学習課	2	3	0		0		1		3	
スポーツ振興課	14	6	7		5		11		37	
文化財課	1	0	1		3		1		6	
人権同和教育課	6	7	3		9		5		23	
計	80 (実答弁数)	42 (実答弁数)	42 (実答弁数)		55 (実答弁数)		57		234 (実答弁数)	

※ 計に(実答弁数)と記載してある議会は、1つの答弁を複数の課で担当したものがあつたため、各課室の合計と計(実答弁数)が一致しない。

令和3年6月定例会 質問の概要

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
1	県内就職	満行 潤一	県民連合宮崎	県立高校生の県内就職について、今後の展望を伺いたい。	高校教育課
2	入試/大学入学共通テスト	満行 潤一	県民連合宮崎	県立高校の推薦入試制度を、今年度変更するに至った経緯と理由、及び受験生等の不安を払拭するための取組について伺いたい。	高校教育課
3	教育の情報化	重松幸次郎	公明党	「教育の情報化」緊急対策事業の目的を伺いたい。	教育政策課
4	教育の情報化	重松幸次郎	公明党	「教育の情報化」緊急対策事業の内容を伺いたい。	教育政策課
5	生理的貧困	重松幸次郎	公明党	経済的理由などで生理用品を購入できない高校生に対して、県立学校でも東京都と同様の取組を検討できないか伺いたい。	高校教育課
6	コンプライアンス	重松幸次郎	公明党	教職員のコンプライアンス推進におけるこれまでの取組について伺いたい。	教職員課
7	コンプライアンス	重松幸次郎	公明党	「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」の施行に向け、県教育委員会としてどのように対応していくのか伺いたい。	教職員課
8	情報モラル教育	西村 賢	自由民主党	高校生が性犯罪の加害者や被害者とならないために、SNS等の利用について、県教育委員会が行っている取組について伺いたい。	人権同和教育課
9	教育理念・抱負	井上紀代子	県民の声	コロナ禍を経験した宮崎の子ども達に、今後どのように育ててほしいか、知事の思いを伺いたい。	教育政策課
10	教育理念・抱負	井上紀代子	県民の声	これからの宮崎の学校教育で、どのような子ども達を育てていきたいか、教育長の考えを伺いたい。	教育政策課
11	教育理念・抱負	井上紀代子	県民の声	教育の在り様が変化している現在、教員に何を求めるのか伺いたい。	教職員課
12	GIGAスクール構想	井上紀代子	県民の声	県内市町村立の小・中学校及び県立学校におけるGIGAスクール構想の進捗状況について伺いたい。	教育政策課
13	GIGAスクール構想	井上紀代子	県民の声	今後のICT活用における教員の人材育成と環境整備について伺いたい。	教育政策課
14	学習指導/学習内容	井上紀代子	県民の声	一人も取り残さないという決意のもと、追加学習の必要性が大きいと考えるが、その体制は取れるのか伺いたい。	義務教育課
15	リカレント教育	井上紀代子	県民の声	リカレント教育の必要性について、教育長の見解を伺いたい。	高校教育課
16	性に関する指導・性教育	井上紀代子	県民の声	学校における性に関する指導において、性の多様性や人権等についても包括的に取り扱うことが必要だと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。	スポーツ振興課 人権同和教育課
17	主権者教育	井上紀代子	県民の声	主権者教育について、これまでの取組を踏まえて、今後どのように進めていくのか伺いたい。	高校教育課
18	ヤングケアラー	井上紀代子	県民の声	ヤングケアラーの実態についてどう認識しているか。また、今後どのように取り組んでいくか伺いたい。	人権同和教育課
19	新型コロナウイルス感染症対策	横田 照夫	自由民主党	コロナ禍で子供たちの学校生活が制限されてきた状況の中で、児童生徒における変化をどのように判断しているか伺いたい。	人権同和教育課
20	オンライン学習	横田 照夫	自由民主党	学校と家庭を結んで行うオンライン学習について、本県での取組状況を伺いたい。	高校教育課 義務教育課
21	これからの学校教育	横田 照夫	自由民主党	コロナ禍を経験して、これからの学校教育はどのように変わっていくと考えるか伺いたい。	高校教育課 義務教育課
22	いのちを大切に教育	岩切 達哉	県民連合宮崎	「生命（いのち）の安全教育」について、本県の教育実践を伺いたい。	人権同和教育課
23	修学旅行	内田 理佐	自由民主党	小中学校の県内修学旅行における昨年度の実績と本年度の予定、及び県内のよさを広める取組について伺いたい。	義務教育課
24	新型コロナウイルス感染症対策	内田 理佐	自由民主党	県高校総体における保護者の観戦について伺いたい。また、これから行われる県中学総体における対応についても伺いたい。	スポーツ振興課
25	新型コロナウイルス感染症対策	内田 理佐	自由民主党	新型コロナ感染症の感染者及び濃厚接触者等で、自宅待機を余儀なくされた児童生徒の学びを止めないための取組について伺いたい。	義務教育課 高校教育課
26	ICT活用	佐藤 雅洋	自由民主党	宮崎県における各分野のICT等を活用したスマート化の状況と今後の取組について、関係部長及び教育長に伺いたい。	高校教育課 義務教育課 教育政策課
27	競技力向上	佐藤 雅洋	自由民主党	天皇杯獲得を目指す意気込みと現在の競技力向上の取組状況について伺いたい。	スポーツ振興課
28	青年団協議会	佐藤 雅洋	自由民主党	青年団協議会の現在の活動状況や今後の支援の在り方について伺いたい。併せて、事務局移転の状況についても伺いたい。	生涯学習課
29	青年団協議会	佐藤 雅洋	自由民主党	青年団協議会については、重要な社会教育団体であると認識しているようだが、そうであれば、移転についてもう少し積極的に関わるべきだと思うが、県の考えを伺いたい。	生涯学習課
30	教育相談	佐藤 雅洋	自由民主党	「チーム学校で子どもを支える教育相談体制推進事業」の概要について伺いたい。	人権同和教育課
31	ICT活用	安田 厚生	自由民主党	県内の市町村立小・中学校の校内通信ネットワークの整備状況と、教員のICTを活用した指導力向上に向けた現状と今後の取組について伺いたい。	義務教育課
32	生徒指導	安田 厚生	自由民主党	校別・生徒指導の在り方について、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化に応じて見直す必要があると思うが、県の考えを伺いたい。	人権同和教育課
33	働き方改革	安田 厚生	自由民主党	公立学校教員の時間外業務の現状と今後の取組について伺いたい。	教職員課
34	教科担任制/全員担任制	安田 厚生	自由民主党	今後、小学校高学年からの導入が検討されている教科担任制に、体育を積極的に取り入れてほしいと思うが、県の考えを伺いたい。	スポーツ振興課 義務教育課

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
35	生理の貧困	前屋敷恵美	日本共産党	コロナ禍の中で浮き彫りになった「生理の貧困」について、県立学校のトイレに生理用品を常備することはできないか伺いたい。	高校教育課
36	育児休業	有岡 浩一	郷中の会	男性教職員の育児休業等の取得状況と、育児参加促進のための取組について伺いたい。	教職員課
37	みやざき総合美術展	有岡 浩一	郷中の会	第1回みやざき総合美術展を開催した教育長の所感と今後の展開について伺いたい。	生涯学習課
38	1130県民運動	有岡 浩一	郷中の会	コロナ禍において県民の運動不足が懸念される中、県民が1130県民運動に取り組んでいくことが重要であると考えているが、現在の取組状況について伺いたい。	スポーツ振興課
39	プログラミング教育	河野 哲也	公明党	プログラミング教育は、どのようなねらいで実施されているのか伺いたい。	義務教育課
40	特別支援	河野 哲也	公明党	自閉症スペクトラムの特性について伺いたい。	特別支援教育課
41	特別支援	河野 哲也	公明党	自閉症スペクトラムの子供たちがプログラミング教育を学ぶことで、どのような効果が期待できるのか伺いたい。	特別支援教育課
42	学校給食・食育	河野 哲也	公明党	小中学校の学校給食費の公費化について、国はどのような考え方を示しているのか。また、県教育委員会として、どのように対応しているのか伺いたい。	スポーツ振興課

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 期	答 弁	担当課
1	県内就職	県立高校生の県内就職について、今後の展望を伺いたい。	満行 潤一	県民連合会 宮崎	R3 6	県立高校生の県内就職につきましては、県の関係部局や宮崎労働局などと連携し、企業説明会やインターンシップ等の取組を行っています。 また、就職支援エリアコーナーを県内6地区に配置し、地元企業の求人開拓など、企業と生徒をつなぐ取組も実施してまいりました。これらの成果として、県内就職率は6年連続で上昇してきたところであります。 しかしながら、全国平均を下回っている状況であり、県教育委員会としては、求人要請のための企業訪問や、対象を保護者にまで広げた企業説明会の開催、さらには、地元企業に対して長期現場実習受け入れのお願いなど、これまで以上に関係機関や地元企業との連携強化を図り、県内就職の促進に向けて積極的に取り組んでまいります。	高校教育課
2	入試/大学入学 共通テスト	県立高校の推薦入試制度を、今年度変更するに当たって、経緯と理由、及び受検生等の不安を払拭するための取組について伺いたい。	満行 潤一	県民連合会 宮崎	R3 6	推薦入試を含めまして、高校入試の在り方につきましては、これまでも、中学校と高校にアンケートを毎年実施し、その結果を踏まえ、改善を行ってまいりました。 そのような中、近年の志願者の減少という課題に对应し、県立高校の特色化・魅力化を一層図るために、今回、制度の大きな見直しを行ったところであります。 見直しを行ったところでは、各高校が、育成を目指す資質や能力を明確にすることにより、受検生が、自分の意志で学校を選び、個性を生かした受検がしやすくなるよう、特に配慮したところであります。 今後、受検生や保護者が安心して推薦入試に臨めるよう、7月には募集人員や検査内容を公表し、入試改善の内容を掲載したリーフレットを各中学校へ配付するなど丁寧な情報発信にしっかりと取り組んでまいります。	高校教育課
3	教育の情報化	「教育の情報化」緊急対策事業の目的を伺いたい。	重松幸次郎	公明党	R3 6	昨年度、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けまして、学校では臨時休業が続きました。その中でオンライン学習の導入を含め、「教育の情報化」の必要性を改めて強く感じるところでございます。 そこで、御質問にありました、本事業では、新型コロナウイルス感染症拡大時よりもより、災害発生時などの緊急事態においても子どもたちの学びを止めず、必要な教育活動を継続させることと、さらには、Society5.0時代の到来を見据えて宮崎の子どもたちに、ICTを活用したより効果的で魅力ある授業を提供すること等を目的として、人材育成と環境整備に取り組みむものであります。	教育政策課
4	教育の情報化	「教育の情報化」緊急対策事業の内容を伺いたい。	重松幸次郎	公明党	R3 6	本事業の主な内容として、まずは、人材育成として、全ての県立学校にICT教育を推進するリダーを配置し、教育委員会内の指導主事とともに研修会を行うなど、学校と教育委員会が一体となりながら教員のICT活用能力の向上に積極的に取り組んでまいります。 次に、環境整備として、教員が授業で使用する端末を各学級に整備するとともに、生徒及び教員が随時オンラインを活用できるように、ICT機器を備えた「教育の情報化」の拠点となる専用会議室を全ての県立学校に整備いたします。 さらに、県立学校における生徒用の1人1台端末の整備に向け、モデル校において、個人が所有する端末を授業で活用できないか、検証を行ってまいります。	教育政策課
5	生理的貧困	経済的理由などで生理用品を購入できない高校生に対して、県立学校でも東京都と同様の取組が検討できばいいか伺いたい。	重松幸次郎	公明党	R3 6	現在、本県では、県立学校におきまして、保健室に生理用品を準備いたしまして、必要に応じて生徒が使用できるという形を取っているところであります。 議員御指摘のとおり、東京都をはじめとした他の自治体の事例もありまことに、これらも参考にしながら、検討してまいりたいと考えております。	高校教育課
6	コンプライアンス	教職員のコンプライアンス推進におけるこれまでの取組について伺いたい。	重松幸次郎	公明党	R3 6	教職員のコンプライアンス推進につきましては、平成24年度から、県と市町村が一体となった推進協議会を立ち上げ、わいせつ行為や体罰の防止などの、重点事項を定めて全県的に取り組んできたところであります。 県教育委員会としては、教職員に対する効果的な研修ができるよう、講師派遣や具体的な情報提供を随時行うとともに、各学校におきましては、コンプライアンスリーダーを中心に研修会等を実施し、不祥事等の未然防止に努めているところであります。	教職員課

令和3年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 度	期 数	担当課
7	コンプライアンス	「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」の施行に向け、県教育委員会としてどのように対応していくのか伺いたい。	重松幸次郎	公明 党	R3	6	教職員課
8	情報モラル教育	高校生が性犯罪の加害者や被害者とならないために、SNS等の利用について、県教育委員会が行っている取組について伺いたい。	西村 賢	自由 民主 党	R3	6	人権同和教育課
9	教育理念・抱負	コロナ禍を経験した宮崎の子ども達に、今後どのような育ってほしいか、知事の思いを伺いたい。	井上紀代子	県民 の声	R3	6	教育政策課
10	教育理念・抱負	これからの宮崎の学校教育で、どのような子ども達を育てていきたいか、教育長の考えを伺いたい。	井上紀代子	県民 の声	R3	6	教育政策課
11	教育理念・抱負	教育の在り様が変わっている現任、教員に何を求めるのか伺いたい。	井上紀代子	県民 の声	R3	6	教職員課
12	G I G A スクールの構想	県内市町村立の小・中学校及び県立学校におけるG I G A スクールの構想の進捗状況について伺いたい。	井上紀代子	県民 の声	R3	6	教育政策課

先般公布されましたわいせつ教員の対策に係る新たな法律では、わいせつ行為等懲戒免職となり、教員免許を失効した教員の情報を国が各県から集約し、共通のデータベースを作成することや、免許状の再交付にあたっては、県が設置する審査会でその可否を判断できることなどが明記されており、県教育委員会としては、今後、国から示される基本指針をふまえて、法律の基本理念の周知を図るとともに、児童生徒への性暴力等の防止及び早期発見・対応に関する事項について、着実に準備を進めてまいりたいと考えております。

生徒が、SNSを介した性犯罪の加害者にも被害者にもならないためには、自他を大切にすることを心や規範意識とともに、SNSなどを利用する上でのルールやマナーなどの情報モラルを身につけさせることが重要であります。そのためには、教職員はもとより、家庭の果たす役割も大きいことから保護者への啓発が大切であると考えております。県教育委員会としては、ICTの専門家や学校に派遣し、個人の情報や画像の流出など、SNS利用における注意点や危険性の啓発を行っておりますがその研修におきましては、保護者も含めて実施するようはたらきかけているところであります。今後とも、警察を始めとする関係機関や専門家と一層連携しながら、学校と家庭が一体となった具体的な取組を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、学習活動のみならず、部活動や学校行事の制限など、子ども達の学校生活にも大きな影響を与えました。そのような中、県高校総体が、2年ぶりに開催をされ、躍動する高校生の懸命な姿を見て、宮崎の子ども達の逞しさや、力強さに感動を覚えたところでもあります。スポーツの力であり、また若い躍動する力が県民全体に元気を与えてくれることを改めて強く感じたいところでございます。このような、可能性に満ちあふれた宮崎の子ども達も、今回、我々がコロナ禍で経験をした、予測が困難で変化の激しい社会に立ち向かっていく必要ががあります。そのため、子ども達には、答えのない課題にもしっかりと向かい合い、よりよい宮崎や世界を創造できる人材、そして何より、宮崎で生まれ育ったことや、宮崎のすばらしさを誇りに思い、愛する故郷に貢献できる人材に育ってほしいと願っております。そのためにも、宮崎のあらゆる分野の力を結果として、このような未来を担う若い世代の育成に全力で取り組んでまいります。

私は、これまでの教員生活におきまして、子どもの可能性は無限であるということを多くの子ども達から学びました。こうした経験から、一人一人の子ども達に、自分の可能性を信じることや、新しい自分に挑戦することの大切さを訴えてきました。また、そうした挑戦をする経験の中で、失敗をすることの大切さや、そこから立ち上がることの尊厳も繰り返し伝えてきたつもりであります。これらを踏まえ、これからの予測の困難な時代を生きていく子ども達には、強い意志と行動力を身に付け新しい世界に果敢に挑戦できる、そういう人材に育ってほしいと願っております。今後とも、私自身、学校へも足を運び、様々な声に耳を傾けながら現場と一体となって、本県教育の推進に邁進してまいります。

社会状況や価値観が大きく変化する中ではありますが教員には、「今と自分」に意識の向かいがちな子どもたちにも、「未来と社会」を兜でいくことが、いつの時代も変わらない大きな使命であると考えております。この大切な使命を果たすため、教職員の資質向上に関するプランに示す教師像を目標とすることはもちろんですが、別の言い方をしますと子どもたちの目標、「あこがれの存在」になることであると思っております。そして、教員には、子どもたちの無限の可能性に期待を寄せ、新しい世界に果敢に挑戦できる人材へと育て上げてほしいと願っております。

本県のG I G A スクール構想に関する現時点での進捗状況であります。まず、市町村立学校では、21の自治体が、校内ネットワーク及び「児童生徒1人1台端末」の整備を完了しており、残りの5つの自治体でも、本年9月までには整備を完了する予定となっております。次に、県立学校では、3人に1台程度を生徒用端末や校内ネットワークの整備が完了し、加えて、より効果的で魅力的な授業を提供するために、普通教室への壁掛けプロジェクタ等の整備を重点的に行ったところであり、また、ICT教育を組織的・計画的に推進するために、管理職を中心とした、校内の推進体制の整備を現在、進めているところであります。

★

令和3年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 期	答 弁	担当課	
13	G I G A スクール構想	今後のICT活用における教員の人材育成と環境整備について伺いたい。	井上紀代子	県民 の 声	R3	6	ICT機器の急速な整備に伴い、今後は、これらの機器を効果的に活用できる教員の人材育成が急務であると思っております。そのため、県教育委員会では、全ての県立学校にICT教育を推進するリーダーを配置し、教育委員会内の指導主事とともに研修会を行うなど、まずは、中核となる教員の育成を行うこととしております。その後、全ての教員に対しても、指導主事による支援訪問や研修会を通して、ICT活用の能力の向上を図ってまいります。 また、全ての県立学校に教員が授業で使用する端末の追加整備や、ICT機器を備えた「教育の情報化」の拠点となる専用会議室の整備を行うなど、各学校のICT環境の充実を図ってまいります。 こうした取組の充実のため、今議会に「教育の情報化」緊急対策事業をお願ひしており、今後、本県の全ての教員に、ICT機器を生かした授業設計の力が身につき、よつ、人材育成と環境整備に取り組んでまいります。	教育政策課
14	学習指導/ 学習内容	一人も取り残さないという決意のもと、追加学習の必要性が大きいと考えるが、その体制は取れるのか伺いたい。	井上紀代子	県民 の 声	R3	6	児童生徒を取り巻く環境が多様化する中であっても、誰一人取り残さない教育を徹底することは大変重要であると認識しております。その実現に向けて、児童生徒一人一人の能力、適性等に応じた教育を進めるとともに、様々な事情を抱える児童生徒にも、これまで以上に寄り添った指導を行うことが重要であります。 そのような学習者主体の教育の実現のためにも、県教育委員会では、現在整備を進めておりますICTも活用し、多様な教育の機会を、学校内外において提供できるようにすることにも、教員とは異なる知見をもつ専門スタッフを配置するなど、体制整備に向けて取組を進めているところであります。	義務教育課
15	リカレント教育	リカレント教育の必要性について、教育長の見解を伺いたい。	井上紀代子	県民 の 声	R3	6	人生1000年時代を迎え、誰もがいくつになっても学び直し、様々な可能性に挑戦し、活躍できるそんな社会が実現するためにも、リカレント教育の推進は重要であると認識しております。 そのため、学校教育におきましては、社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる、資質や能力を育むことに加え、地域が抱える問題を、学校と地域が協働し、解決していく学び、そういったものにも取り組んでいるところであります。 今後、より一層変化していく社会を子どもたちがたくましく生きていくために、また、必要に応じて、必要なことを学ぶ力を身に付けていくためにもリカレント教育の必要性を伝えてまいります。	高校教育課
16	性に関する 指導・性教育	学校における性に関する指導において、性の多様性や人権等についても包括的に取り扱うことが必要だと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。	井上紀代子	県民 の 声	R3	6	学校における性に関する指導につきましては、学習指導要領に基づき、異性の理解と尊重など、発達段階に応じて計画的に行っているところであります。 しかしながら、ジェンダーへの理解や性暴力などの現代社会における課題等を踏まえ、性に関する内容を包括的に取り扱うことも、大切な視点だと考えております。 今後とも、児童生徒の実態等に応じ、学校の教育活動の様々な場面で効果的で柔軟な性に関する指導が行われるよう、研修の充実を図り、教員の意識を高めるとともに指導力の向上に取り組んでまいりたいと考えております。	スポーツ振興課 人権同和教育課

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
17	主権者教育	主権者教育について、これまで取組を進めて、今後どのように進めていくのか伺いたい。	井上紀代子	県民の声	R3	6	主権者教育につきましては、これまで各学校で、社会科や公民科の学習に加え、生徒総会や模擬投票をはじめ、主権者意識を高める学習活動等に積極的に取り組んできたところであります。今後とも、県教育委員会としては、児童生徒に主権者に必要な知識や、校則などの身近な問題を自分ごととして捉え、考え、議論する中で、自ら判断し、行動していく、そういうことができような教育活動を推進してまいりたいと考えております。現在行っております県選挙管理委員会や関係機関と連携した取組につきましても、さらに充実させていきたいと考えております。	高校教育課
18	ヤングケアラー	ヤングケアラーの実態についてどう認識しているか。また、今後どのように取り組んでいくか伺いたい。	井上紀代子	県民の声	R3	6	昨年12月に、国が実施した抽出調査によりまして、中学2年生の5.7%、高校2年生の4.1%が、いわゆるヤングケアラーとして報告されております。ヤングケアラーなど、児童生徒が家庭環境に不安を抱えている状況が見られた場合、スクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフや福祉部局の担当者等を加えたケース会議で対応を協議し、関係機関につなぐなど、家庭環境の改善を図るために、必要な支援を行っているところであります。ヤングケアラーの問題につきましては、このように福祉や介護など、多岐にわたる支援が必要であるとされており、今後、実態の把握も含め、関係部局と連携しながら、取り組みの充実を図ってまいりたいと考えております。	人権同和教育課
19	新型コロナウイルス感染症対策	コロナ禍で子供たちの学校生活が制限されてきた状況の中で、児童生徒における変化をどのように判断しているか伺いたい。	横田 照夫	自由民主党	R3	6	県教育委員会では、子供たちの不安解消を図るための手立ての一つとして、従前より、電話相談やスクールカウンセラーによる相談を行ってまいりました。令和2年度における相談状況を見ますといずれの相談も増加しており、その具体的な内容として、「感情のコントロールができずイライラする」、「行事がなくクラスになじめない」、「何となく学校に行きたくない」などの「心の健康」や「不登校」に関する相談が増加していることが、報告されております。このことから、コロナ禍における様々な制約により、子供たちが、これまでとは違う悩みやストレスを抱えているのではないかと憂慮しているところであります。	人権同和教育課
20	オンライン学習	学校と家庭を結んで行うオンライン学習について、本県での取組状況を伺いたい。	横田 照夫	自由民主党	R3	6	昨年春の臨時休業の際、学校のICT環境は十分には整ってはいなかったこともありまして、家庭と結んでのオンライン学習は、西米良村の小中学校や県立学校の一部での取組にとどまっていた状況でありました。このため、県教育委員会といたしましては、県立学校におきまして、学校の通信回線に関する強化や民間の学習支援ソフトの導入、国の制度を活用したオンライン学習の経費補助等の対応を進めてきたところであります。この結果、昨年度後半には、同時双方向型のオンライン学習のほか、学習動画の配信など、家庭学習を支援する取組が広がっております。	高校教育課 義務教育課
21	これからの学校教育	コロナ禍を経験して、これからの学校教育はどのように変わっていくと考えるか伺いたい。	横田 照夫	自由民主党	R3	6	コロナ禍を経験して、学校は、学力を保障するという役割だけでなく、児童生徒がふれ合いながら社会性を育み、安全・安心に生活できる居場所としての役割も担っている。そういうことが再認識されたところであります。これからの学校教育はこれまでの実践で培ってきた対面指導と、新たに整備の進んだICTを活用した指導との最適な組合せによって、両方の良さを最大限に生かすことで、子どもたちが、答えのない問いにしっかりと立ち向かうことができよう学習者主体の視点をこれまで以上に重視していくことが何よりも大切であるとと考えております。	高校教育課 義務教育課
22	いのちを大切に する教育	「生命（いのち）の安全教育」について、本県の教育実践を伺いたい。	岩切 達哉	県民 連合 宮崎	R3	6	性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為で、心身に重大な影響を及ぼす深刻な問題であり、子供を性暴力の当事者にしないための「生命（いのち）の安全教育」は非常に重要であると考えております。近年、SNSに起因する性犯罪が全国的に増加していることから、県教育委員会では、ICTを活用した取り組みの推進と、未然防止に取組んでおります。また、本年4月に文部科学省が作成した「生命（いのち）の安全教育」の教材につきましても各学校に周知したところであります。今後、様々な場面で積極的な活用を働きかけると、引き続き、取組の充実を図ってまいります。	人権同和教育課

令和3年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 次	期 別	答 弁	担当課
23	修学旅行	小中学校の県内修学旅行における昨年度の実績と本年度の予定、及び県内のよさを広める取組について伺いたい。	内田 理佐	自由民主党	R3	6	昨年度の修学旅行につきましては実施した公立小中学校257校のうち、228校が、県内で行なったところですが、県内で実施した児童生徒や職員からは、「宮崎のよさを見つめ直すことができた」「移動が短く、見学や体験活動にじっくり取り込む時間が確保できた」など肯定的な意見が、数多く寄せられたところであり、このような昨年度の実績をもとに本年度につきましても、多くの学校が修学旅行の行き先を、年度当初から県内を含めて検討している状況であります。 なお、県内各地には、修学旅行のみならず満足などにも活用できる見学先や体験施設がまだまだありますことから県教育委員会では、各市町村から集めた情報を各学校に提供したところであり、	義務教育課
24	新型コロナウイルス感染症対策	県高校総体における保護者の観戦について伺いたい。また、これから行われる県中学総体における対応についても伺いたい。	内田 理佐	自由民主党	R3	6	県高校総体は、県独自の緊急事態宣言を受け、日程を6月1日以降に延期するとともに、感染リスクを可能な限りおさえ、安全・安心な状況の中で大会を行うことを最優先し、原則「無観客」での開催となりました。しかしながら、多くの高校生にとっては最後の大会となりますことから、保護者の観戦につきましては、県高体連と協議を行い、撮影等を目的に一部活動ごとに2名まででお願したところであり、7月10日から行われる予定の県中学総体における保護者の観戦につきましては、感染状況や施設等の状況を確認しながら、現在、中体連と検討しているところであり、	スポーツ振興課
25	新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症の感染源及び濃厚接触者等で、自宅待機を余儀なくされた児童生徒の学びを止めないための取組について伺いたい。	内田 理佐	自由民主党	R3	6	自宅待機を余儀なくされた児童生徒への対応でございますが、何より大切なことは、連絡を絶やさないこととあります。そのため、学級担任等が電話連絡を通じて、まずは、個別に、心と体の健康状態の確認を行っております。その後、個々の状況に配慮して、現在の学習状況を伝えたり、保護者を通じて、課題プリントを届けたりするなどの取組を行うところであり、また、高等学校におきましては、ICTの活用も加わりまして、課題の指示や学習状況の確認を行った事例もございます。県教育委員会としては、今後とも児童生徒の学びを止めないための取組が、すべての学校において、確実に行われるようさらなる周知を図ってまいります。	義務教育課 高校教育課
26	ICT活用	宮崎県における各分野のICT等を活用したスマート化の状況と今後の取組について、関係部長及び教育長に伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R3	6	教育の情報化は、現在、最重要課題であり、昨年度来、県立学校のICT環境の強化を積極的に進めてきたところであり、また、今議会に「教育の情報化」緊急対策事業をお願いしており、教員が使う機器等の整備につきましても進めてまいりたいと考えております。 県教育委員会としては、今年度をICT活用「元年」と捉え教員の指導力向上に向けた取組を強化するとともに、オンライン学習の推進など、ICTを活用した多様な教育の充実に努めてまいります。 一方、ICT活用は、統合型校務支援システムの導入など働き方改革にも大きな効果がありますことから、より一層、積極的に推進し、令和のみやび型教育の実現を目指してまいります。	高校教育課 義務教育課 教育政策課
27	競技力向上	天皇杯獲得を目指す意気込みと現在の競技力向上の取組状況について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R3	6	本県で開催予定の第81回国民スポーツ大会につきましては、1年延期となりましたことから基本計画等の見直しを行い、関係機関や各種団体等と一丸となりまして、競技力向上に係る施策や必要な施設整備について積極的に取り組んでいるところであり、その中でも、本県の課題であります成年選手の確保や女性アスリートへの支援、少年競技力の向上等に加え、競技人口の少ない競技種目の強化につきましても、競技団体等と連携を図りながら、具体的な対策に、鋭意、取り組んでおります。 前回の昭和54年開催の「宮崎国体」における天皇杯獲得は、県民に大きな感動を与え、現在のスポーツランドみやびの礎に繋がったところであり、大変意義深いものであります。 今回の国民スポーツ大会におきまして、県民の皆様の期待に応え、何としても天皇杯を獲得したいと考えておりますが、そのためには、前回に比べ競技数、種別数が増え、競技レベルも格段に上がっておりますので、量・質ともに前回以上の取組が必要となってまいります。 競技力向上対策本部と致しましては、県民の皆様の御理解と御協力、御支援を頂きながら、その目標に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。	スポーツ振興課



令和3年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 次	期 別	答 弁	担 当 課
28	青年団協議会	青年団協議会の現在の活動状況や今後の支援の在り方について伺いたい。併せて、事務局移転の状況についても伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R3	6	青年団協議会は、各地域における清掃活動や子どもたちの映画会を実施するなど、豊かな郷土づくりに貢献していただいている重要な社会教育団体であると認識しております。県教育委員会としては、現在も運営費等の補助をさせていただいておりまして、今後とも、地域を支える社会教育団体のネットワークづくりを推進するなど、活性化に向けた支援を行ってまいります。なお、青年団協議会の活動の拠点となっております事務局の移転の在り方につきましては、団体の皆様の御意向を十分に踏まえながら、検討してまいりたいと考えております。	生涯学習課
29	青年団協議会	青年団協議会については、重要な社会教育団体であるとして認識しているが、そうであるにもかかわらず、移転についてももう少し積極的に関わってほしい。県の考えを伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R3	6	青年団協議会の事務局移転につきましては、昨年度より、団体の皆様との意見交換を重ねているところでありまして、先日は、私も事務局に伺ってまいりました。県教育委員会といたしましては、引き続き検討してまいりたいと考えております。	生涯学習課
30	教育相談	「チーム学校で子どもを支える教育相談体制推進事業」の概要について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R3	6	本事業は、新型コロナウイルス感染症に起因するトラブル等による児童生徒の心理的負担の解消を図るため、外部専門家や関係機関と連携し、チーム学校として教育相談体制を強化することを目的としております。また、これまで以上に様々な悩みを抱えた子どもたちが、より気軽に相談ができるよう、従前の電話相談に加え、「LINEを活用した相談」を強化するものであります。具体的には、当初、8月下旬から2週間設定しておりましたが、様々な悩みに対し、随時対応することを可能とするなど、取組の充実を図りたいと考えております。	人権同和教育課
31	ICT活用	県内の市町村立小・中学校の校内通信ネットワークの整備状況と、教員のICTを活用した指導力向上に向けた現状と今後の取組について伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R3	6	小・中学校のGIGAスクール構想に関する校内通信ネットワーク環境につきましては、本年9月までに全ての市町村におきまして整備が完了する予定となっております。県教育委員会では、教員のICTを活用した指導力向上に向け、県内8つの小・中学校をモデル校に指定し、ICTを効果的に活用した授業の在り方について研究を行っております。また、文部科学省のICT活用教育アドバイザーを招聘し、全ての小・中学校の担当者を対象に研修を実施したところであります。今後は、校内研修に役立つ授業動画を作成するとともに、モデル校による取組を授業公開等を通して県内に広く周知するなど、さらなる研修の充実を図ってまいります。	義務教育課
32	生徒指導	校則・生徒指導の在り方について、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化に順じて見直しが必要があると思うが、県の考えを伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R3	6	県教育委員会では、これまでも校則の見直しにつきましても、県立の校長会に働きかけを行ってきたところではありますが、昨年12月に改めて、校則の見直しを行う際には、児童生徒や保護者が参加することにも、地域の実情や社会の変化を踏まえるようその結果、現在、全ての県立高校で教師と生徒が話し合う場を設けたり、保護者にアンケートを実施したりするなど、見直しが進められております。県教育委員会といたしましては、子ども達の在り方について、子ども達のよりよい成長を支えるものとなるよう学校に働きかけてまいります。	人権同和教育課
33	働き方改革	公立学校教員の時間外業務の現状と今後の取組について伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R3	6	教員の時間外業務につきましては、昨年10月に実施した調査におきまして、月当たり4.5時間を超えている教諭等の割合は、小学校で約3割、中学校、高等学校で約6割、特別支援学校で約2割でありました。全職種とも減少傾向ではありますものの、依然として時間外業務の多い中学校、高等学校におきましては部活動と授業準備に多くの時間を費やしている状況が窺われております。これらの状況の改善に向けまして、県教育委員会ではスクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置拡充を行うとともに、本年度から県立学校のモデル校を指定し、教職員の時差出勤を可能とするフレックスタイム制を試行するなど、教員の働き方改革により一層、推進してまいりたいと考えております。	教職員課

令和3年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
34	教科担任制／ 全員担任制	今後、小学校高学年からの導入が検討されている教科担任制に、体育を積極的に取り入れてほしいと思うが、県の考えを伺いたい。	安田 厚生	自由 民主 党	R3	6	小学校における、運動好きな児童の育成や体力・運動能力の向上のためには、小学校体育の充実が、大変重要であると認識しております。 そこで県教育委員会では、昨年度から、全国初の取組として、教員採用選考試験に、小学校教諭等体育という区分を設け、体育に専門的に携わる人材確保に努めており、今後、その成果等を検証していくこととしております。 議員御指摘の、教科担任制に体育を取り入れることにつきましては、課題等をしつかりと整理し、実践を積み重ねてまいりたいと考えております。	スポーツ振興課 義務教育課
35	生理の貧困	コロナ禍の中で浮き彫りになった「生理の貧困」について、県立学校のトイレに生理用品を常備することはできないか伺いたい。	前屋敷恵美	日本 共産 党	R3	6	現在、本県では、県立学校におきまして、保健室に生理用品を準備し、必要に応じて生徒が使用できるとしているところがあります。 今後、県教育委員会としては、他の自治体の事例も参考にしながら、検討してまいります。	高校教育課
36	育児休業	男性教職員の育児休業等の取得状況と、育児参加促進のための取組について伺いたい。	有岡 浩一	郷中 の会	R3	6	公立学校の男性教職員の育児休業取得率は、令和元年度が3.1%、令和2年度が速報値ではございますが、9.2%と増加しております。また、育児参加休暇の取得率は、令和元年度が17.3%となっております。 県教育委員会としては、男性の育児参加促進を目的として、各種休暇等ととりまとめた「キャリアデザイン手引書」をもとに子育て支援を行うよう周知しているところであります。 しかしながら、まだまだ育児参加休暇をはじめ、育児休業等の取得状況に課題があることから、管理職が利用計画となる「子育てマイプラン」等を活用した面談等を積極的に行うようしつかりと働きかけてまいります。	教職員課
37	みやざき 総合美術展	第1回みやざき総合美術展を開催した教育長の所感と今後の展開について伺いたい。	有岡 浩一	郷中 の会	R3	6	宮内総合美術展と県美術展が統合され、昨年度よりスタートしましたみやざき総合美術展には、コロナ禍にも関わらず、約2週間の会期中、7,200名を超える来場者がありました。 特に、自由表現部門を新設し様々な分野の作品が集まったことや、18歳以下及び75歳以上の出品者を対象に奨励賞を設け、幅広い世代からの応募につながったことは、大きな成果と考えております。 また、宮内日新聞社に連携いただいたことにより、新聞紙上での特集記事を通して県民の注目度も高められたものと考えております。 今後、来場者や応募作品のさらなる増加につながるよう、関連イベントの実施や学校への周知を行い、子どもから大人まで、県民に親しまれる展覧会を目指してまいります。	生涯学習課
38	1130 県民運動	コロナ禍において県民の運動不足が懸念される中、県民が1130県民運動に取り組んでいくことが重要であると考えますが、現在の取組状況について伺いたい。	有岡 浩一	郷中 の会	R3	6	コロナ禍での運動不足の解消を図るため、私自身もウォーキング スマートフォンアプリSALKOを活用し、1日8千歩を目標にウォーキングに取り組んでおります。 現在、県教育委員会では、県民が生涯にわたり、心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう1130県民運動を推進しており、県の広報番組での啓発にも努めているところであります。 また、昨年度は、SALKOにサイクリング機能等を追加し、魅力や利便性を高めたところであり、さらに、今年度から子育て世代や働き盛り世代の運動やスポーツ習慣化を目的に、総合型地域スポーツクラブや企業等に健康運動指導士や保健師といった専門指導者を派遣する等の取組を行うこととしております。	スポーツ振興課
39	プログラミング 教育	プログラミング教育は、どのようなねらいで実施されているのか伺いたい。	河野 哲也	公明 党	R3	6	プログラミング教育につきましては、これからのSociety5.0時代を生きていく子どもたちが、将来どのような職業に就くとしても、コンピュータ等を活用することが求められるという社会的背景から導入されたものであります。 この教育のねらいには、単に「プログラミング言語」を覚えるということだけでなく、目的を達成するために、物事の筋道を考えて計画的に実行するといった、いわゆる「プログラミング的思考」を育むとともに、コンピュータ等を効果的に活用して、よりよい社会を築いていくこととする態度を育むことなどがあります。	義務教育課

NO	キーワード	問 い	議 員 名	所 属	年 期	答 弁	担 当 課
40	特別支援	自閉症スペクトラムの特性について伺いたい。	河野 哲也	公明 党	R3 6	自閉症スペクトラムの特性としては、一人一人の状態は様々で個人差がございますが、国の資料によりましてと他人と適切にかかわることの困難さや、言葉の発達遅れ、特定のものへのこだわりなどが挙げられております。各学校におきましては、それぞれの特性に応じた指導を行っているところであります。	特別支援教育課
41	特別支援	自閉症スペクトラムの子供たちがプログラミング教育を学ぶことで、どのような効果が期待できるのか伺いたい。	河野 哲也	公明 党	R3 6	プログラミング教育は、学習指導要領の改訂により小学校と特別支援学校小学校小学部は昨年度から、中学校と特別支援学校中学部は今年度から、それぞれ導入されたところであります。最近の研究では、自閉症スペクトラムの子供たちがプログラミング教育を学ぶことにより、論理的思考力の獲得のみならず、認知やコミュニケーション能力などの発達のみならず、この事例を聞いております。しかしながら、プログラミング教育はまだまだ実践も少ないことから、県教育委員会といたしましては今後、効果的な取組について研究を深めてまいりたいと考えております。	特別支援教育課
42	学校給食・食育	小中学校の学校給食費の公会計化について、国はどのような考え方を示しているのか。また、県教育委員会として、どのように対応しているのか伺いたい。	河野 哲也	公明 党	R3 6	文科科学省では、教員の負担軽減、保護者の利便性の向上、徴収・管理業務の効率化などが見込まれることから、「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」を示し学校給食費の公会計化を促進しております。県教育委員会としては、本ガイドラインを市町村に周知するとともに、公会計化に関する県内の現状を把握し、導入に向けた取組事例などの情報提供を行ったところであります。今後とも国の動向を注視しながら、市町村への適切な支援に努めてまいります。	スポーツ振興課